

日本は単一民族国家なのか

「日本は単一民族国家である。」という言葉聞いたことがあると思います。OECD（経済協力開発機構）の定義では、特定の民族のみで95%の人口を占める国を単一民族国家と定義していますので、大和民族が96%以上を占めている日本は定義を満たしている国と言えます。

しかし、現在の日本の領土内で生活しているのは大和民族だけではありません。アイヌ民族（北海道）と琉球民族（沖縄）は明治時代に日本の領土として位置づけられたため、日本としての歴史は150年ほどしかありません。なので独自の文化が残っており、本州では体験できないことがたくさんあります。

今回はアイヌ民族について紹介します。アイヌ民族は北海道、千島列島、樺太（サハリン）周辺に居住していた民族です。「だれがアイヌ民族なのか」の定義が難しいため正確にはわかりませんが、現在のアイヌ民族の大部分は日本に居住しています。アイヌは、狩猟採集及び物々交換による交易を行っていました。また母語はアイヌ語ですが、文字を持たず、独自の文様を多用する文化を持っていました。

魚の鮭（サーモン）のことを「しゃけ」と呼ぶことはありませんか？諸説ありますが、アイヌ語で夏の食べ物を意味する「シャケンベ」が由来と言われています。江戸時代にアイヌ民族との交易で鮭がもたらされた時の聞き間違いのようです。日本語の中にもアイヌ語が入ってきていますね。

時代に応じて法律が変わっていますが、現在では「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律（アイヌ施策推進法）」が施行されています。この法律は、アイヌの人々が民族としての誇りを持って生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現を目指すことを目的としています。最近では、アイヌについて取り上げられたテレビやマンガ等がありますので、ご覧になれる際には気にとめていただけたらと思います。

旅人



▲アイヌ民族といえば・・・でイメージする文様にはたくさんの種類があります。

衣服につけられた細かな文様から、家族に対する深い愛情の表現を感じ取ることができます。



▲雪国で生活するために必要な道具ですね。上側にあるのは一人用の犬ぞりです。



◀アイヌの狩猟にかかせない道具の一つに弓矢があります。

右上あたりにあるのが矢ですが、意外と短いと思いませんか？その理由は、トリカブトの毒を使った毒矢であるためだそうです。命中さえすれば、熊さえも弱らせることができたとか